葛西昌医会病院　看護部　クリニカルラダー（臨床実践能力段階別到達目標）２００９．３月作成　2012.1月改訂2013年３月i

レベル			レベルⅠ （初心者から新人）	レベルⅡ （一人前）	レベルⅢ （中堅）	レベルⅣ （達人）
年　次			概ね１年目	概ね２～３年目	概ね３～４年目	概ね5年目以上
病院共通等級準表（めやす）			1	1	１～2	２以上
目　標			１臨床における基礎知識・技術が身につく ２専門病院の役割を理解し、当院および看護部の理念・目標を知ることができる	１指導を受けながら受持ち看護師としての能力を身につける ２自立した受持ち看護師として看護実践ができる。 ３課題に研究的に取り組み自分の看護実践を振り返ることができる	１看護実践場面におけるリーダーとなることができる。 ２後輩に対して指導的にかかわれる ３看護研究や研修を通して看護実践を深めることができる	１自らが専門領域における看護実践の役割モデルとなることができる ２知識を総合的に用い、さらに新しい知識として発展させることができる
構成要素		実践の特徴	１指示を受けながら、正確に行動ができる	１優先順位や重要性を考慮し、判断、行動できる	１ある状況を部分的ではなく、全体的として認識し、行動ができる	根拠と経験に基づいた判断・行動ができる。
				２結果や危険を予測し、回避対策を実施できる	２経験に基づいた判断・行動ができる。	
看護実践能力	知識と正確な技術による看護実践能力	看護技術の基本	１与えられた業務を看護基準手順、マニュアル等を活用し助言を受けながら正確かつ安全に業務を遂行できる。	１根拠に基づいて看護技術を安全・確実に実践できる。	１専門知識・技術があり、患者・家族の状況に応じて、根拠に基づいた看護実践ができる。	１専門的知識・技術が十分身につき、担当業務を模範的に遂行できる
	患者の状態に応じた看護サービスの提供	情報収集 計画立案	１受持ち患者の情報収集が、適切にでき、助言を受けながら看護計画の立案ができる。	１患者の情報収集が適切にでき、患者・家族とともに看護計画の立案・実践ができる。	１優先順位を踏まえて、患者・家族とともに看護計画の立案・看護実践ができる。 ２部署の中心となり、退院支援を計画的に実施できる	１豊富な知識・技術を応用して、患者・家族に適切な看護実践ができる。
		看護記録	１記載基準にそった看護記録ができる。 ２看護必要度について理解できる	１看護記録の自己監査ができる。 ２記録から正確な看護必要度が作成できる。	１部署内の看護記録監査を行い、看護の質の向上を図ることができる。	
		急変時・緊急時の対応	１急変時、指示を受けながら行動できる。	１急変時、支援を受けながら対応できる。	１急変・緊急時の状況判断ができ、報告・連絡・相談・家族への対応を含めた対処ができる。	１急変・緊急時の状況判断ができ、後輩指導を含め、適切な対応ができる。
マネジメント能力	看護サービスを提供するための看護師に求められる能力と成果責任	ﾘｰﾀﾞｰｼｯﾌﾟ	１チームの一員であることを理解し、周囲のことを考えた行動ができる。	１受持ち看護師としての役割を理解し、患者を受け持つことができる。 自己の責任を理解し、メンバーシップを発揮できる。	１受持ち看護師としての自己の責任を理解し、リーダーシップを発揮できる。 ２リーダーシップを発揮して、チーム内の業務調整が図れる。	１リーダーシップを発揮して、チーム内の業務調整が図れ、指導・支援ができる。 ２他部署と適切な情報交換を行い、協力して業務を進めることができる。
	看護実践に必要な管理能力	看護管理	１病棟の目標を知っている ２病棟の特殊性と業務内容について説明できる	１カンファレンスで患者の情報を共有し、看護実践に活用できる。 ２病棟目標達成のため、担当係の業務を協力しながら行える	１チーム内の業務調整を行い、メンバーの援助ができる。 ２病院理念が理解でき、当該部署の目標達成に向けて行動できる。	1看護管理上の問題の発見やその解決のための方策を師長とともに考えることができる ２当該部署の目標を師長とともに立案し、スタッフに助言・指導しながら目標達成に向けた行動がとれる。
		情報管理 経営管理	１看護業務で発生する物品の無駄遣い防止に努めることができる ２看護業務における個人情報保護や守秘義務について理解できる			
		感染管理	１標準予防策がわかる			
		安全管理 災害管理	１医療・看護実践での安全確保の必要性が理解できる。 ２災害対策について知っている。	１安全対策を理解し実践できる。 ２災害対策のマニュアルをもとに、行動がとれる。	１患者に及ぼす危険を予測し安全対策が実施できる。 ２災害時スタッフと連携し、適切に対処できる	１突発的事態にシーダーシップを発揮できる。
対人関係能力	医療・看護におけるｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ能力	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ（ｱｻｰｼｮﾝ）	１患者・家族および医療チームとコミュニケーションがとれ、必要なことを報告・連絡・相談ができる。	１日常業務の中で患者・家族から意図的に情報収集し、看護に関する説明ができる。	１患者・家族および他の医療チームと良好なコミュニケーションができる。	１部署内および患者・家族の問題を調整するために、医療ﾁｰﾑと積極的なｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝをとり、良い人間関係を築くことができる。
	医療ﾁｰﾑとの協調・連携能力	応対マナー ・ 患者対応	１社会人として基本的な応対マナーができる。	１患者・家族の立場を理解し、医療チームとして応対できる。	１患者・家族および他の医療チームが期待する応対サービスができる。	１看護実践をとおして、顧客満足(CS)・患者満足(PS) を高めることができる。
		チーム ワーク ・ 調整能力	１他部門と患者との関わりが理解できる。	１周囲のことを考えた行動がとれる。	１他の医療チームと情報交換し、社会資源等の活用ができる。	１社会資源を活用し、患者のニーズにあった継続看護を提供できる。
教育・研究能力	看護サービス向上のための自己開発能力及び研究能力	自己啓発	１専門職業人として自覚することができる。 ２院内教育プログラム・各学習会に積極的に参加し自己学習できる。	１自己の課題に対してまわりの資源を活用し積極的に課題に取り組むことができる。	１専門職業人としての自己のあり方を明確にし、新たな課題に向けた行動がとれる。	１自己のキャリア開発における目標を見出すことができ自己研鑽をすることができる。
		研究	１看護実践を通して、自分の看護の振り返りができる。	１日常の看護に問題意識を持ち、研究的視点をもつことができる。 看護研究の意義、目的を理解できる。	１看護の質の向上を図るために、看護研究に取り組ことができる。	１看護研究を中心的に進め、院内外に発表できる。 ２専門領域の最新の看護研究を批判し、有用な結果を積極的に臨床に応用する。
		後輩指導		１後輩などに対して、原理原則に基づいた指導ができる。	１専門的知識や根拠に基づいて、後輩などの指導ができる。	１指導的立場で、院内における教育活動に、主体的に取り組むことができる。

レベル		レベルⅠ（初心者から新人）		レベルⅡ（一人前）	レベルⅢ（中堅）	レベルⅣ（達人）
		新人	経験者入職時			
部署別目標	A病棟		1指導のもと予約入院を受けることができる ２心臓カテーテル検査および治療前・後の看護実践ができる	１心不全の患者を受け持ち、看護過程を展開することができる ２人工呼吸器装着中の患者の看護を実践することができる ３虚血性心疾患および心不全の患者・家族への退院指導ができる	１ＩＣＵで急性心筋梗塞患者の入院の受け受け入れ、転室までの看護を実践することができる ２心臓カテーテル検査および治療時の看護を経験することができる ３急変時にリーダーシップを発揮して対応することができる	1緊急心臓カテーテル検査時および治療時の看護実践ができ、後輩に指導することができる ２ＩＣＵトレーニングを行う後輩に、根拠に基づいた指導・教育を行うことができる
	B病棟 消化器外科		１ＰＩＣＣ、ポート、イレウス管、PTGBDなどの処置の介助を指導を受けながらできる	１痔・そけいヘルニアの術前・術後の看護ができる。 ２ＰＩＣＣ、ポート、イレウス管などの処置の介助ができる	全身麻酔の周術期において看護過程を踏まえた個別的なケアができる	
	B病棟 消化器内科		１ポリペクトミー、ＥＭＲなどの内視鏡治療の看護が、指導を受けながら出来る	ポリペクトミー、ＥＭＲなどの内視鏡治療の看護が、出来る	ＥＳＤ，ＥＲＣＰなどの侵襲を伴う内視鏡領域における看護実践ができる	
	B病棟 整形外科		１ギブス固定やコルセットなどの装着時のケアが指導を受けながらできる	１周術期の看護を指導を受けながらできる ２ギブス固定やコルセットなどの装着時のケアができる	１周術期の看護、整形外科特有のケアが自立できる	１整形外科間看護の指導ができる
	B病棟 化学療法 緩和ケア				化学療法・緩和ケア。ストマケアなどの専門領域の看護実践ができる	化学療法・緩和ケア。ストマケアなどの専門領域において指導ができる
	C病棟		１指導を受けながら入院（転入）から退院までの看護を実践できる	1指導を受けながら手術後回復期の患者の看護を実践できる ２指導を受けながら脳神経・脊椎疾患の急性期看護を実践でき、メンバーシップを発揮できる	１手術後急性期患者または重症患者の看護を、エビデンスに基づいて実践できる２指導を受けながら、脳神経。脊椎疾患の急性期の看護展開および実践ができ、チューター・メンバーシップの役割と業務リーダーの役割を担うことができる	１脳神経・脊椎疾患看護の超急性期・急性期を看護する実践能力を高めることができ、チューター・業務リーダーの育成を行う事ができる
	SCU				１指導を受けながら、脳卒中ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝに基づいた看護を実践できる １指導を受けながら、重症患者または手術後患者の看護を実践できる ３指導を受けながら、脳卒中の急性期の看護展開および実践することができ、ﾁｭｰﾀｰ・ﾒﾝﾊﾞｰｼｯﾌﾟの役割と業務ﾘｰﾀﾞｰの役割を担うことができる	１脳卒中ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝに基づいてﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ看護の実践ができる ２脳卒中の超急性期・急性期を看護する実践能力を高めることができ、チューター・業務リーダーの育成を行う事ができる ３他職種と共同して脳卒中看護およびチーム医療を展開することができる
	HCU				１指導を受けながら、手術後・脳卒中・緊急入院の看護を実践できる ２指導を受けながら、脳卒中の急性期の看護展開および実践することができ、ﾁｭｰﾀｰ・ﾒﾝﾊﾞｰｼｯﾌﾟの役割と業務ﾘｰﾀﾞｰの役割を担うことができる	1手術後・脳卒中・緊急入院の看護を実践でき指導を行うことができる ２超急性期・急性期を看護する実践能力を高めることができ、チューター・業務リーダーの育成を行う事ができる ３他職種と共同して脳卒中看護およびチーム医療を展開することができる
	内視鏡センター		１検査前準備ができる ２検査に必要な血管確保ができる ３内視鏡検査・治療に伴う基本的な看護を助言を受けながら実践できる ４検査後の患者の経過観察を助言を受けながらできる	１内視鏡検査・」治療にともなう個別的な看護を自立して計画・実践ができる ２内視鏡検査・治療の直接介助、間接介助、ﾘｶﾊﾞﾘｰ業務ができる	１内視鏡検査・治療ｎともなう看護を総合的に判断でき、根拠に基づいた看護実践ができる ２内視鏡ｾﾝﾀｰ内の管理行動がとれる 3新たに導入される検査・治療のﾏﾆｭｱﾙ作り、既存の検査ﾏﾆｭｱﾙ改定ができる	１内視鏡検査・治療に求められる、新しい知識・技術を持ち、対称なアプローチによる創造的な看護が計画・実践できる ２根拠に基づく新たなｴﾋﾞﾃﾞﾝｽを構築し、ｽﾀｯﾌを教育するﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑや環境調整を構築する
	外来		１外来受診から会計までの流れを理解し、外来処置室での業務ができる ２患者の異常を察知し、緊急性を判断できる ３一時救命処置を実施できる ４止血、包帯法、創傷ケアなどの応急処置を実施できる ５急性症状への初期対応ができる	１救急看護師の役割を理解し、チームメンバーとして日中の救急外来担当を指導を受けながらできる ２フィジカルアセスメントや病態アセスメントにより看護問題を明確にできる ３救急患者の特殊性を理解した看護実践ができる ４救急患者の家族の心理が理解できる	１根拠に基づいた看護実践と評価ができ、夜間の救急外来看護ができる ２ﾁｰﾑの一員としての行動がとれ、他職種との連携が取れる ３患者・家族の心理、社会的側面を考慮した適切な行動が取れる ４緊急時に即応した行動がとれる	１ラダーレベルⅠ・Ⅱの看護師に対して指導・教育ができる ２外来・救急外来におけるﾄﾘｱｰｼﾞの指導ができる
	手術室			1指導のもと、手術看護に必要な基本的知識・技術・態度を身につけ、定められたガイドラインに沿って、外回り看護・機械だし看護が安全・確実にできる ２手術室チームメンバーの一員として自分の役割と責任が果たせる ３手術室看護に関する研究的取り組みに関心が持てる	１患者の個別性を踏まえた機械だし看護が実践できる ２手術看護に関する研究的な取り組みに参加することができる	１周術期全体を通し、患者を全人的に捉えた実践ができ、手術看護の実践モデルとなれる ２手術看護の教育的・指導的役割が担える ３研究的な取り組みを実践し、手術看護の専門性を深めることができる